故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池の向きは正しいですか。 ●乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	●電源は入っていますか。 ●イヤホンは正しく接続されていますか。 ●音量が最小になっていませんか。
正常に動作しない	●乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、電源を入れることができてもすぐに切れたり、ボタン操作ができなくなることがあります。早急に新しい乾電池と交換してください。

お手入れのしかた

本機表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後に乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

電源	：DC3V 単4形乾電池×2本（別売）
受信周波数	：AM　522～1620kHz FM　76.0～90.0MHz
アンテナ	：AM　内蔵フェライトアンテナ FM　アンテナ兼用イヤホンコード
電池持続時間	：AM　約40時間 FM　約35時間 （アルカリ乾電池使用／音量中位の場合）
外形寸法	：幅37×高さ80×厚14.5mm （突起物含まず）
質量	：約31g（乾電池を除く）
付属品	：ステレオイヤホン（コード長約110cm）、取扱説明書、保証書

※電池持続時間は、使用状況等により異なります。
※外観・仕様は予告なく変更する場合があります。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付　**048-992-3970** 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●通話料無料　**0120-963-006**
●携帯・IP・公衆電話からは　**048-992-2735**
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
※日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-7766/7767D

AudioComm®

取扱説明書

ライターサイズDSPラジオ

型番：RAD-F060Z-S/K
品番：07-7766/7767

このたびは、AudioComm® 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

⚠ 警告　電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

安全上のご注意

警告 以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

●**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源ボタンを押して電源を切ってください。**
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

●**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止し、販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●**本体を分解、修理、改造しないでください。** 火災・感電の原因となります。

●**台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。**
火災や感電の危険があります。

●**本体に使用している乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。**また、乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。**万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。**

●**車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しないでください。**
交通事故の原因になります。また歩きながら使用する時も、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

注意 以下を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

●**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。**
落下による故障やけがの原因となることがあります。

●**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。**
本体に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。

●**湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**火災・感電の原因となることがあります。

●**乾電池を挿入する時は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。**
間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●**指定以外の乾電池は使用しないでください。**
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●**長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず乾電池を取り外してください。**
火災・液もれの原因となることがあります。

●**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけないでください。**
電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

●**本機の上に重いものをのせたりしないでください。**故障や破損の原因になることがあります。

●**はじめからボリュームを上げすぎないでください。**突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。

●**長時間、大音量で聞き続けないでください。**周囲の迷惑になったり、聴覚障害の原因になることがあります。

乾電池についての安全上のご注意 使い方を誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、火傷や大けが、失明の原因になります。

⚠警告

●乾電池が液もれした時は、液が本体内部に残ることがあるため、弊社修理ご相談センターにご相談ください。液が目に入った時は、失明の原因となる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●取扱説明書(本書)の説明に従い、⊕と⊖を正しく入れてください。
●充電しないでください。
●火の中に入れないでください。
●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
●火の近くや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
●水などで濡らさないでください。浴室など湿気の多い場所で使わないでください。

⚠注意

●使い切った電池は取り外してください。長時間使用しない時も取り外してください。

使用済みの電池の廃棄に関して、自治体の条例などで決まりがある場合には、それに従って廃棄してください。

静電気に関するご注意 空気が乾燥する時期に耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。

乾電池の入れ方

1. 電池カバーの⁞⁞部を押しながらスライドさせて、電池カバーを取り外します。
2. 単4形乾電池2本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら、図の通り正しくセットします(コイルバネのあるほうが⊖です)。
3. 電池カバーを元通りにしっかりと閉めます。

電池残量の見方

乾電池の残量はディスプレイに下図のように表示されます。少なくなったら早めに新しい乾電池と交換してください。

ご注意 電源を入れた直後に残量ありと表示されても、少し時間が経つと、少ない、あるいは残量なし、あるいは電源が切れてしまう場合には、乾電池の残量が少ないか空になっています。新しい乾電池と交換してください。

各部の名称

①電源ボタン
・電源のオン・オフ
・電源オフ時に長押しすると、スリープ設定ができます

②バンド切換ボタン
・AM ／ FMの切換
・長押しするとロック設定・解除ができます

③M ／ Fボタン
※MはメモリーFは周波数(Frequency)の略
・メモリー選局と手動選局の切換
・電源オフ時に長押しすると時計設定モードになります

④選局ボタン(▲／▼)
・周波数を調整
・手動選局時に長押しすると、オートスキャニングが始まり、いちばん最初に選局できたラジオ局を受信します。メモリー選局時はメモリー番号で選局操作ができます

⑤音量ボタン(＋／－)
・音量を調整(0～40段階で調整できます)

⑥メモリーボタン
・よく聴く放送局をメモリー登録できます

本機では、AM放送受信時、MWと表示されます。

時刻の合わせ方

電源が入っている時は、電源ボタンを押して電源を切ってから、以下の操作をしてください。

❶ M ／ Fボタンを長押しする
ディスプレイの時刻表示が点滅します。

❷ 選局ボタン(▲)を押して「時」を合わせ
選局ボタン(▼)を押して「分」を合わせる
押すたびに数字が変化します。また、長押しすると数字が速く送られます。

❸ M ／ Fボタンを押す
設定が確定します。約6秒間そのまま操作しない場合も、設定が確定します。
※設定が確定すると点滅が止まります。

ラジオを聴く時やFM放送の選局・メモリー登録時はイヤホンを必ず接続してください。

本機は、イヤホンを接続しないとラジオ放送を聴くことができません。必ずイヤホンジャックにイヤホン(付属)のプラグを差し込んでください。
※FM放送の選局、メモリー登録(手動／自動)時は、イヤホンがアンテナとしても機能するため必ずイヤホンの接続が必要です。
※イヤホンプラグを抜き差しする時は、必ずプラグ部を持って丁寧に行ってください。コードを引っ張ったり、強い衝撃を加えると破損や故障の原因になりますのでご注意ください。

ロック機能

バンド切換ボタンを長押ししてロック機能をオンにすると、ボタン操作ができなくなります(ディスプレイにロック表示が点灯)。ポケットや鞄に入れている時に誤操作を防ぐことができます。ロック機能を解除するには、もう一度バンド切換ボタンを長押しします。

ロック時にボタン操作をすると、約2秒間上右図のように「HoLd」が点滅表示されます。

ラジオの聴き方

1 電源ボタンを押して電源を入れる

2 バンド切換ボタンでAMまたFMを選ぶ

3 選局ボタン(▲／▼)で聴きたい放送局に周波数を合わせる

押すたびに数字が変化します。長押しすると数字が速く送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
※AM放送の場合、9kHz単位で上下し、FM放送の場合は100kHz単位で上下します。

4 音量ボタン(＋／－)で音量を調節する

0~40の間で表示されます。音量表示は約3秒後に周波数表示に戻ります。

5 ラジオを終了する時は電源ボタンを押して電源を切る

手動メモリー登録　※AM・FMそれぞれ最大30局まで登録できます。

普段よく聴く放送局をメモリー登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。登録しておきたい放送局を受信した後、以下の操作をしてください。　※ディスプレイにメモリー番号が表示されている場合は、M ／ Fボタンを押して表示を消した後で以下の操作をしてください。

1 メモリーボタンを押す

MEMOとメモリー番号が点滅します。

2 選局ボタン(▲／▼)で登録したいメモリー番号(0～29)を選ぶ

3 もう一度メモリーボタンを押す

メモリー登録した放送局を呼び出すには、M ／ Fボタンを押してメモリー番号を表示させ、番号を確認しながら選局ボタン(▲／▼)で選局します。

自動メモリー登録　※AM・FMそれぞれ最大30局まで登録できます。

本機はATS機能(オートスキャン機能)を搭載しており、お使いの地域で受信可能な放送局を一括して自動登録することができます。登録したい放送(AMまたはFM)を選択した後、以下の操作をしてください。

自動メモリー登録を開始するには、メモリーボタンを約2秒間長押しする

周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を0番から登録します。
※周波数が送られている間はオートスキャン中です。
※放送局のオートスキャンとメモリー登録が終わると、一番最後に登録された局を引き続き受信します。

自動メモリー登録中

メモリー登録した放送局を呼び出すには、M ／ Fボタンを押してメモリー番号を表示させ、番号を確認しながら選局ボタン(▲／▼)で選局します。

ご注意
- 自動メモリー登録を行うと、メモリー登録した内容が上書きされますのでご注意ください。
- メモリー登録した内容を手動メモリー登録により上書きすることはできますが、消去はできません。
- 乾電池を抜いてしばらく放置した後、再度乾電池を装着した場合は、登録内容が破棄されます。
- お使いの地域が変わった場合は、自動登録メモリーを再度行ってください。

スリープ機能

電源が入っている時は、電源ボタンを押して電源を切ってから、以下の操作をしてください。

1 電源が切れた状態で電源ボタンを長押しする

ディスプレイにスリープ表示と「100」が表示されます。

2 そのまま押し続けて、設定したい電源オフまでの時間が表示されたら指を離す

「100」から「90」、「80」…と10分刻みで変化します。
指を離すとそのまま電源が入り、ラジオを聴ける状態になります。
スリープを解除するには、電源ボタンを押して電源を切ります。